

當歸酒，桂枝煎酒。兩者亦可。丁巳初會，抑復就之，能與。

○ 駒尖端○ 鋸眼面鑄金う丁子 振舞人引死了金一桂
一 桃園國、林楓木網ノ 銀瓢答引僅う丁子 打會振舞家の餘興
一 銀引舞委セル二十四客對象客銀瓢士
一 遊轎瓢音引僅丁子打會の腰引東延

財團法人協調會名古屋出張所

他に各定期日給の三十日分を賄與す

第二、會社懸濶會規的は既に會社側に於て發表せる原案を基
礎とし從業員側の提出せる諸案を參照して會社に於て
作製實施す

第三、賞與金制度は昭和十二年度下半期より實施し會社の事業成績と從業員の勤労成績とに従事し年二回之を支給する。
第四、残業歩増に就いては最も公正妥當なる案を作製し明治十六日より之を實施し別に監督官廳の許可を得て就業規則中に是を定む。

第五、單價の値上に關しては